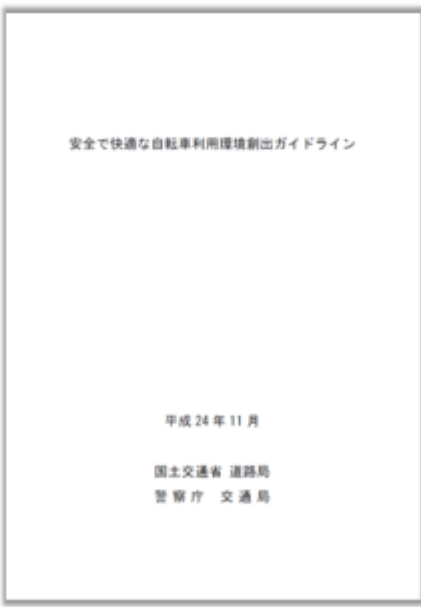


安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン



各地域において、道路管理者や都道府県警察が自転車ネットワーク計画の作成やその整備、通行ルールの徹底等を進められるよう、国土交通省道路局と警察庁交通局が、国土交通省国土技術政策総合研究所の調査・研究の成果等も踏まえ、ガイドラインとしてとりまとめ共同で策定

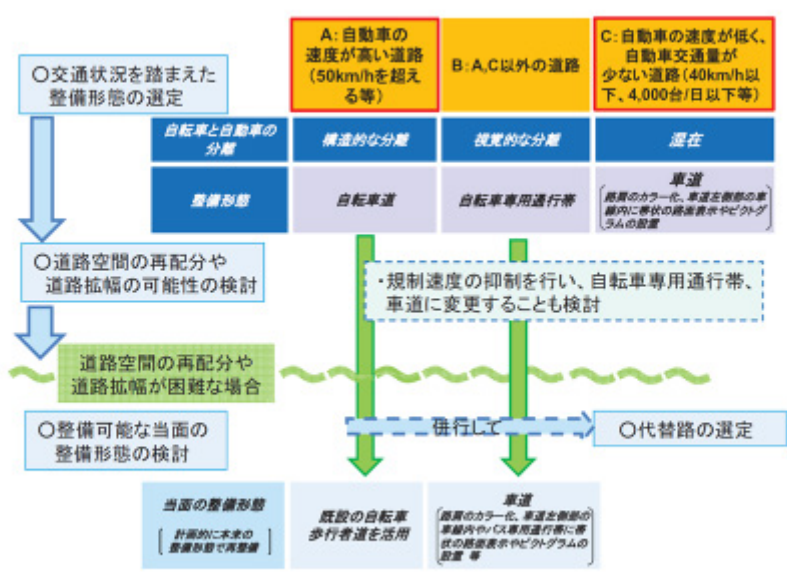
20141118 交通安全フォーラム

23

国土交通省からは「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」というものが定められています。平成 24 年 1 月、本当に最近ですよ。

こういうものができて、これに従って、今後の我が国の中の自転車の空間をつくって行こうということなのですけれども、これは非常に考え方がわかりやすいと言えわかりやすいですね。

交通状況を踏まえた整備形態の選定の考え方



出典：国土交通省HP：「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインについて」<http://www.mlit.go.jp/>

20141118 交通安全フォーラム

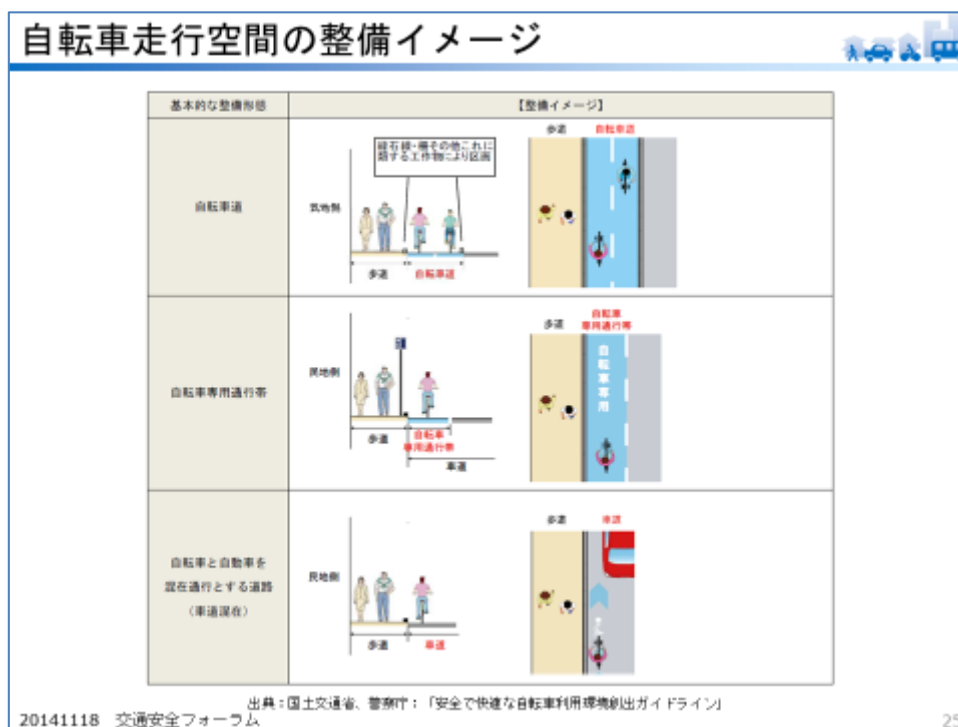
24

車の速度が高い道路、つまり時速 50 キロを超えて車が走っているようなところについては、「自転車と自動車を構造的に分離しましょう。物理的に分離しましょ

うね。自転車道をつくるのですよ。」ということを行っています。

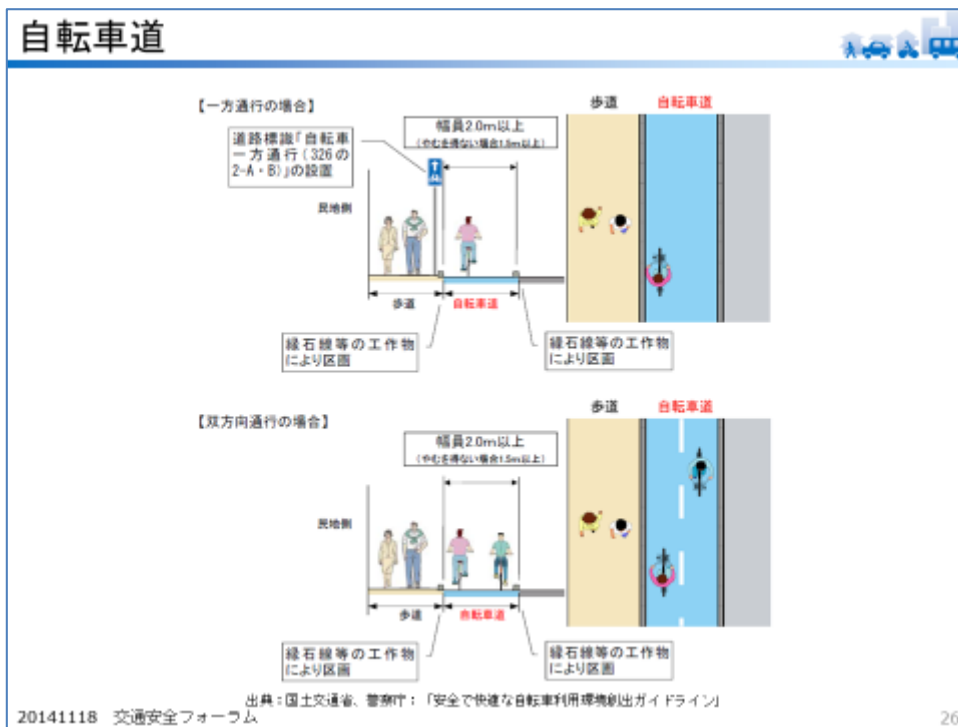
そして、自動車の速度が低く、交通量も少ない道路、具体的にここに数字が出ているのは、時速 40 キロ以下ぐらいで 1 日に 4,000 台。4,000 台も結構な数字に見えるんですけども、でもこういうところに関しては、「混在させましょう。」、要するに、「一緒の空間を走ってくださいね。」とを行っています。それ以外のところについては「視覚的な分離をしましょう。」ということを行っています。

もちろんすぐに全てができるわけじゃないので、途中段階でいろんなことをしなきゃいけないとは思いますが、いずれにしてもこの 3 つのタイプに分けて、自転車の空間というのをつくっていかうということなんです。



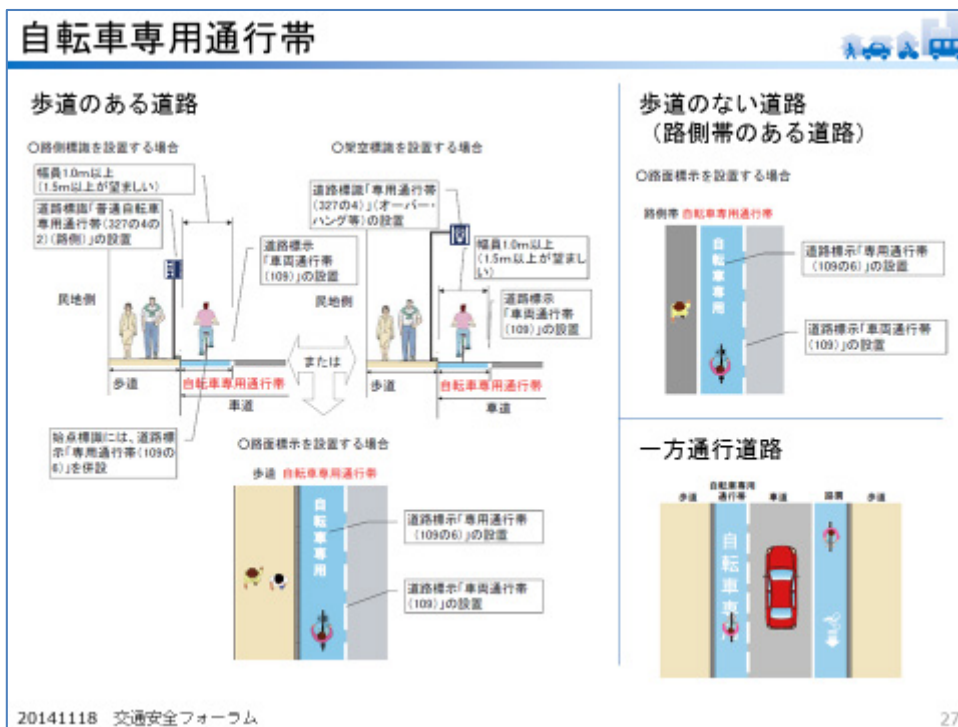
ということかという、自転車道というのはきちんと縁石とかで分離された自転車専用の空間をつくっていかう。そしてもう一つは、自転車の専用通行帯というものをつくって、ここは専用通行帯という以上は、自動車がここを走っちゃいけませんという空間をつくっていかうということなんです。

自転車道

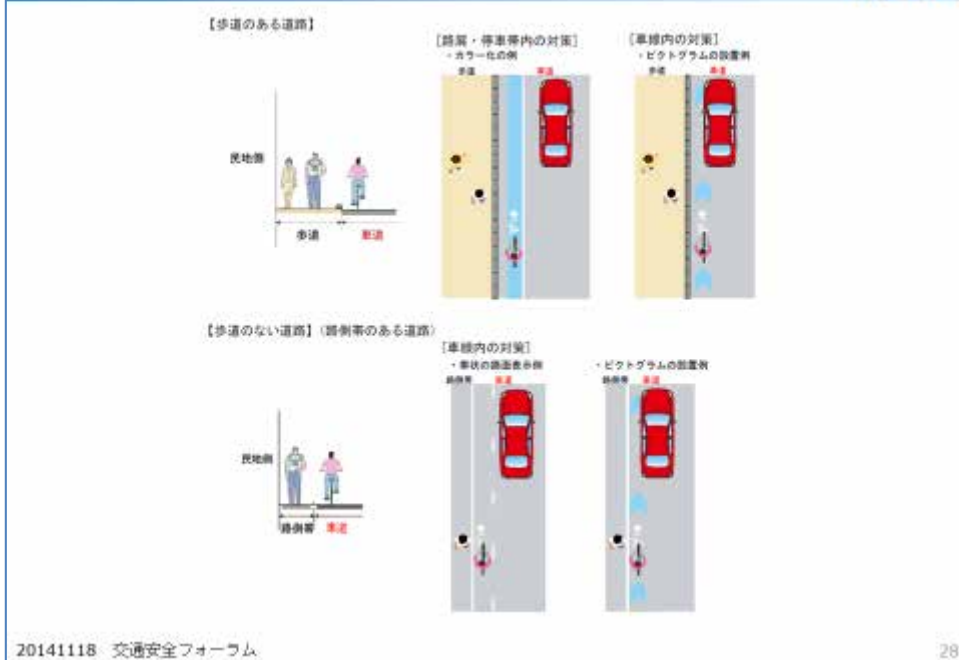


そしてもう一つ、混在という言い方をしましたけれども、車道の中を自転車と車が一緒に走ります。こういう矢印みたいな、あるいは記号みたいなものをつけて、自転車はここを走るんだよというものをつけたりとかということを考えています。自転車の専用道路も一方通行のものから、いろんな逆方向に走りたい人も走れるものから、種類は分かれるということだそうです。

自転車専用通行帯



車道混在



具体的に、岡山にもありますけれども、例えば東京でナビマークというものをつくったりするとか、こういう整備をしています。京都に行くと、京都の街並み、木造の街並みという雰囲気なのではないでしょうか。それに合わせて茶色っぽい色で、自転車の空間を明示したりするとか、そんなことをしています。

自転車ナビマークの設置事例



京都市内の路側帯のある道路の自転車走行空間



京都市

青ではなく、街並みに配慮した色で自転車走行空間を明示

20141118 交通安全フォーラム

30

これを参考にして、岡山でもそういう計画をつくっていかうということです。

自転車ネットワーク計画の策定



岡山市でも、
自転車先進都市おかやま実行戦略
の一部として、都心部を対象に
自転車ネットワーク計画を策定

20141118 交通安全フォーラム

31

そこに出ていたグラフです。先ほど紹介されておりましたけれども、政令指定都市の中で、岡山市というのは実は通勤、通学のときの交通手段で見ると、自転車、あるいは自転車で行って鉄道に乗るというものを合わせてみると、全国で5番目、そしてこの青いところだけ見ると、自転車だけで通勤先まであるいは通学先まで行っていますよという割合で見ると、実は全国で3番目に自転車を多く使っている、そういう街なのです。

政令指定都市別の通勤通学時の交通手段

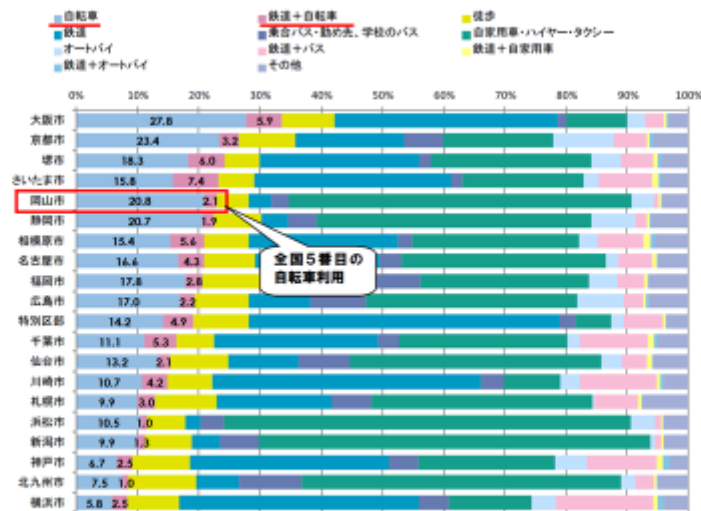


図 通勤通学時の交通手段（政令指定都市集計）

資料：平成22年国勢調査

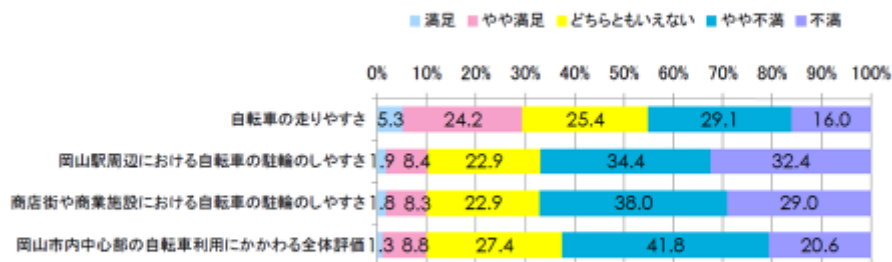
出典：岡山市：「自転車先進都市あかやま実行戦略」

20141118 交通安全フォーラム

32

ところが、使っている方が、ではこの岡山を走るときに満足しているかと言われると、なかなかそうもいかず、「やや不満」とか、「不満」という方が非常に多くなっている。

岡山市内の自転車利用環境等に対する満足度



*岡山市民アンケート調査（H23.11月～1月街路交通課実施）（n=1109）

出典：岡山市：「自転車先進都市あかやま実行戦略」

20141118 交通安全フォーラム

33

要約すると、「たくさんの方が使っているのだけれども、走る空間はいま一つです。」という評価が出ています。そういうこともあって、とにかく岡山駅を中心としたエリアの中で、例えばこれぐらいたくさん自転車専用の走行空間をつくっていこうという計画ができて、これにしたがって今、整備が進められているとい